議案に対する質疑

各会派の代表者が市長の提出議案に対して、質疑しました。主な内容は次のとおりです。

政友会　泉川洋二

○議案第1号

問 **西部小学校放課後児童クラブ整備工事費用が、今回の補正予算の計上に至った理由を伺います。**

答 西部小学校放課後児童クラブは、利用申込者数が急増したため、暫定的な措置として学校授業終了後に校舎内の1教室を一時的に借り、運用していましたが、PTA会議室を放課後児童クラブ室として活用できることになりましたので補正予算案に計上しました。

なお、PTA会議室については、整備工事とあわせて他の教室に移設する予定です。

○議案第4号

問 **地域包括支援センターの業務拡充の内容について伺います。**

答 地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の維持、生活の安定、保健、福祉、医療の向上と増進のため必要な支援を包括的に担う地域の中核機関です。これまでは権利擁護業務、総合相談支援業務、介護予防ケアマネジメント業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の4つを主な業務としていましたが、介護保険制度の見直し後は在宅医療・介護の連携、認知症施策、生活支援サービスの体制整備など、市とともに取り組んでいるところです。

○議案第11号

問 **東京電力ホールディングス株式会社との和解について、見解を伺います。**

答 主に3点あり、1点目は、本件の和解契約書において和解案に含まれない部分については、別途損害賠償請求することを妨げないとしていること。2点目は、他市の和解額の割合と比較しても高い割合であることから、一定程度本市の主張が認められていること。3点目は、仲介の申し立てを行った12団体のうち、協議中の4団体を除き、全ての団体が和解に応じていること、以上のことから和解することが妥当であると判断したものです。

公明党　池ヶ谷富士夫

○議案第1号

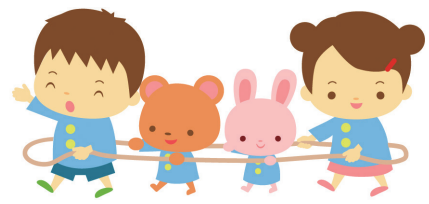
問 **財政調整基金積立に要する経費について、今後の見通しを伺います。**

答 今回の補正予算後の平成29年度末残高は23億3千575万7千円であり、今後の補正予算等を考慮しても鎌ケ谷市財政健全化計画に掲げる年度末残高18億円以上を達成できると見込まれます。

ただ、昨年度の9月補正後では残高が28億5千595万2千円あったことと比べると、約5億2千万円の減となっており、財政状況の厳しさは増しているものと考えています。平成29年度当初予算編成後に策定した中期財政見通しでは、従来以上の歳入確保、歳出削減を行わなかった場合には、平成30年度以降、目標である18億円を下回る見込みとなっており、こうした状況に陥らないよう、毎年度の予算編成の中で対応を行っていきます。

問 **民間保育所の開設の延期に伴う、子ども・子育て支援事業計画への影響を伺います。**

答 保育の提供体制の推進策として、平成29年度は小規模保育事業所1カ所で定員19名、民間保育所開設で定員90名、合計109名の定員を確保する計画となっています。小規模保育事業所は本年4月に開設しており、民間保育所の開設時期はやむを得ず3カ月延期となりますが、年度内の開設なので、計画どおり109名の定員を確保します。その結果、平成29年度は合計1千428名の定員を確保することとなるので、数値上、子ども・子育て支援事業計画への影響はありません。



民主・社民市民連合　針貝和幸

○議案第1号

問 **ドライブレコーダーのランニングコストについて伺います。**

答 メーカーに問い合わせたところ、本体の寿命は5年から10年、SDカードと呼ばれる電磁的記録媒体の寿命は2年程度とのことです。使用状況や設置環境により一定ではありませんが、ドライブレコーダーは車内に設置する精密機器であることから、機器などの修繕費についてはその機能を維持するためのメンテナンスに対する費用が設置から5年以降に発生してくるものと予想しています。

なお、救急車に設置しているドライブレコーダーについては、設置から10年程度使用しておりますが、これまでに故障は生じたことがないとの報告を受けています。

日本共産党　宮城登美子

○議案第3号

問 **今回の補正の公共下水道工事の概要について伺います。**

答 公共下水道工事は、社会資本整備総合交付金を活用し、整備を進めていますが、今年度は例年より内示率が高く、今回の補正予算はその内示額に応じ、工事を追加するものです。追加する工事の概要ですが、手賀沼処理区において枝線を整備します。具体的には中央二丁目地区では市道2339号線等において延長約213メートルの管渠を、南初富三丁目地区では市道2367号線等で延長約110メートル、私道で約10メートル、合わせて約120メートルの管渠を、道野辺中央三丁目地区では市道3626号線で約86メートルの管渠を整備する予定です。

決算審査特別委員会

平成28年度鎌ケ谷市一般会計及び4特別会計の歳入歳出決算の認定について審査を行いました。

一般会計の主な審査内容は次のとおりです。

〈総括〉

問 **平成28年度決算で大きく市民サービスの向上につながった具体的施策について伺います。**

答 平成28年度においても、子供からお年寄りまでずっと住み続けたいまちを実現するため、後期基本計画に定める目標達成に向けて重点化を図り、事業を実施しました。具体的な施策としては、全ての公共施設の耐震化の早期完了を目指していましたが、市庁舎免震工事の完了をもってそれが実現しました。

福祉教育分野においては、保育園及び放課後児童クラブの待機児童ゼロを継続するとともに、教育環境の面でも、小学校に理科支援員を新たに配置しました。

魅力あるまちづくりの面からは、新京成線連続立体交差事業の完了を見据えて、関連する駅前広場の整備に着手しています。

また、社会保障関連事業では、国民健康保険加入者に対し人間ドック費用の助成事業を新たに開始しました。

〈歳入〉

問 **市税総額が、約133億7千563万円と、平成27年度より約1億1千270万円の増となりましたが、平成28年度の市税の動向について伺います。**

答 個人市民税では、納税義務者が728名増加するとともに、総所得金額が1・6％増加したことにより、調定額で約1千500万円、0・3％の増加となりました。

法人市民税では、資本金等の金額が1千万円を超える法人数の増加により、調定額で約600万円、0・9％の増加となりました。

固定資産税では、新築家屋の増加等により、約6千400万円、1・5％の増加となりました。

軽自動車税では、地方税法の改正により、約2千400万円、23・2％の増加となりました。

〈歳出〉

問 **平成28年11月から実施した、コミュニティバスの土曜、日曜の運行開始や増便などの改定による利用者数の変動について伺います。**

答 利用者数は、平成27年度の7万4千75人に対し、平成28年度は9万89人の利用があり、1万6千14人の増加となっています。

決算審査特別委員会委員

委員長	泉川洋二
副委員長	針貝和幸
委員	野上陽子
委員	中村潤一
委員	佐竹知之
委員	矢崎悟
委員	佐藤誠
委員	石神市太郎
委員	芝田裕美
委員	土屋裕彦

9月定例会の審議結果一覧

議案番号等	件名	審議結果	
議案第1号	平成29年度鎌ケ谷市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	賛成多数
議案第2号	平成29年度鎌ケ谷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	賛成多数
議案第3号	平成29年度鎌ケ谷市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第4号	平成29年度鎌ケ谷市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	賛成多数
議案第5号	平成29年度鎌ケ谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第6号	平成28年度鎌ケ谷市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第7号	平成28年度鎌ケ谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第8号	平成28年度鎌ケ谷市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致
議案第9号	平成28年度鎌ケ谷市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第10号	平成28年度鎌ケ谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第11号	和解について	原案可決	全会一致
議案第12号	公の施設の区域外設置に関する協議について	原案可決	全会一致
議案第13号	鎌ケ谷市市道路線の認定及び廃止について	原案可決	全会一致
議案第14号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決	全会一致
議案第15号	平成29年度鎌ケ谷市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	全会一致
陳情29-9-1	住民の健康増進と2020東京オリンピック・パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情書	継続審査	賛成多数
陳情29-9-2	千葉県受動喫煙防止条例の早期制定を求める意見書の提出を求める陳情	継続審査	賛成多数
陳情29-9-4	鎌ケ谷市における、受動喫煙防止対策に関する陳情書	継続審査	賛成多数
陳情29-9-5	鎌ケ谷市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策に関する陳情	継続審査	賛成多数
陳情28-12-2	市道11号線および主要地方道千葉鎌ケ谷松戸線の整備計画に関する陳情	不採択	賛成少数

（お知らせ）次回の定例会号は、平成30年2月15日（木）発行予定です。